

エンパブリック便り

2020年2月

コラム「最高の一瞬のために」

エンパブリック代表 広石拓司

東京2020年大会はもちろんのこと、近年のオリンピックでは「サステナビリティ」が大きなテーマとなっています。組織委員会では、5つの主要テーマと目標を掲げ、「持続可能性に配慮した運営計画」を公表しています。

そして、木材、紙、パーム油、水産物、農産物など調達される物品に対する「持続可能性に配慮した調達コード」も設定されています。昨秋、調達コードについてのWWFの説明会があったのですが、参加者の方からの質問で「オリンピックという話と、調達についての詳細な話の結びつきがピンとこない」という趣旨の質問がありました。

確かに、もしスポーツを「競技や試合」と考えると、調達についての詳細な持続可能性に配慮した基準はあまり関係ないように思います。しかし、スタジアムの競技や試合で生まれる“最高の一瞬”は、その時に偶然生まれるものではありません。そこに向けて、日々の努力があり、食事や生活環境も大きく影響してきます。

そのような関わる日々の努力の蓄積の結果、当日に起きる“最高の一瞬”を世界の人達が見守ります。もし、その日々に食べる物が自然や誰かを傷つけているとしたら、その舞台がどこかの森や人の犠牲の上に成り立っているとしたら、その“最高の一瞬”を人々は心から喜べるでしょうか？アスリートは、そこでの結果を心から誇れるでしょうか？

目の前で起きることを楽しむ、結果だけを置き換えるのではなく、スポーツを通してその日々を思い、目の前で起きていることの奥にあることを人々は共有します。“最高の一瞬”には、長い長い時間と、トレーニングや道具の科学やビジネス、そして、食べ物、環境、人権、関わる地域社会、多様な民族の存在、ダイバーシティなどの裏打ちがあってこそ実現します。だからこそ、SDGsでもスポーツは重視されています。

この夏の東京2020大会において、また身近な多様なスポーツにおいて“最高の一瞬”を生み出すことは、スポーツ関係者だけではできません。“最高の一瞬”が生まれる環境づくりに私たちにできることはたくさんあります。何ができるか、一緒に考えていきましょう！

ワークショップの詳細・申込は、
ばづくるスクールのページで

http://empubliC.jp/nez_studio

株式会社エンパブリック

エンパブリック根津スタジオ

東京都文京区弥生2-12-3 (千代田線根津駅1分)

お問い合わせは info@empubliC.jp まで



ゼミ「問いかけ力を磨こう」(全6回)

～本質を探り、変化を生む場をつくるために



情報も、多様な選択肢もあふれる中で、 自分の道を拓くのは「問いかけ力」

組織や社会のこれまで解決できていない複雑な問題に挑む時、新規事業を創る時、必要なのは、質の高い問いを設定できるか、そして、その問いを適切に周りと分かち合い、共に挑む関係をつくっていきけるか、です。

このゼミでは6つの視点から対話と演習、実践体験を通して自分の問題意識を多面的に磨くことで、質の高い課題解決につながる問いかける力と場づくり力を身につけます。

1. 問いかけ入門

～探求と関係づくりの問いかけをしよう

2. 関係性を育む問いとは？

～合意形成ファシリテーション

3. 学びを促す問いとは？

～ラーニング・ファシリテーション

4. チーム力を高める問いとは？

～ダイバーシティ・ファシリテーション

5. 今ある問題の本質に迫る問いとは？

～システム思考・ファシリテーション

6. 未来を拓く問いとは？

～デザイン思考とイノベーションのファシリテーション



詳細は、
問いかけゼミの
ページで

【火曜夜コース:追加募集】

1/20、21、28、2/4、18、25 19:00～21:40

【土曜2日間集中コース】

3/7、4/4 9:30～18:00

全6回セット 30,000円

(欠席の回については、別コースへのふりかえが可能です)

【ナビゲーター】広石拓司 (エンパブリック代表)

詳細・申込 <http://empubliC.jp/questioning>

～裏面のご案内～

・場づくり～つながりと協力を促すファシリテーションの基礎

・ワークショップデザイン～参加型学びの場の作り方

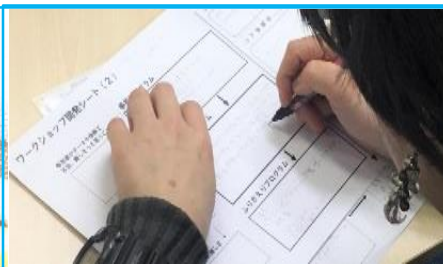
・出版物のご案内



場づくり～つながりと協力を促すファシリテーションの基礎

職場で、地域での話し合いを、つながりや協力を生み出すとするには何が必要なのでしょう？場を守り立てる技術の基礎を学んだ上で、ファシリテーターを実践し、講師からの個別にアドバイスをもらい、自分らしいファシリテーション力を高めた人のプログラムです。

4月5日(日) 9:30 - 12:30



ワークショップ・デザイン 参加型の学びの場の創り方

セミナーや研修、イベントを双方向型で、参加者同士でも学びあい、行動の変化を生み出す場にするには？ワークショップの構造を体系的に理解し、ワークショップが参加者の気づきを促し、行動変容につなげる場の設計方法を、座学、体験、プランを通して学びます。

4月5日(日) 13:15 - 18:00



情報も、多様な選択肢もあふれる中で、自分の道を拓くのは「問いかけ力」

【土曜2日間集中コース】

3/7、4/4 9:30～18:00

参加募集中！！

詳細は表面をご覧ください。



<エンパブリックの出版物>

書籍 ソーシャルプロジェクトを成功に導く12ステップ
～コレクティブな協働なら解決できる！SDGs時代の複雑な社会問題

小さな個人・組織・会社がつながり、協力して、大きな社会を動かすには、どうしたらいいの？そのための考え方とプロセスを、12のステップに整理！社会で起きている問題に挑もうと考えている方のためのガイドブックができました。

著者 佐藤真久 × 広石拓司
発行 株式会社みくに出版
定価：1,800円（税抜）

詳細・購入

<http://empublic.jp/sp12steps>

Amazon等でも販売中！



情報誌 readiness for 2025

地産知縁 vol.5

今、世界は大きな変革期です。会社、事業開発、組織、会議、学び、キャリアの6つにおいて今、始まっている変化が定着する2025年の姿を、現状との対比から、まとめました。変化に向き合い、変化を活かせる readiness (レディネス：準備・覚悟)を整えるヒントとしてご活用ください。購入ページ <http://empublic.jp/B250>



・冊子版800円
・PDF版540円



書籍「共に考える講座の作り方
～あなたの経験をみんなの学びに」
広石拓司 著 価格1,080円

ワークショップを始めたい方へ！
自分の経験から講演をつくる際のネタの
見つけ方から、講演の設計法、対話の場
づくりまで役立つノウハウをコンパクト
にまとめたガイドブック。プロの講師で
はない人が、学びの講座をつくるために
ご活用いただけます。
Amazonでも販売中！



第4号「アクションを促す 学びの場をつくるには？」

<事例紹介>

- ・エンパブリックの社会教育講座
- ・ご近所イノベーター学校、

<事例紹介>・aschoopl

第3号「起業家を育む基盤とは？」

- ・プロムリ・バイ・ポウ・センター
- ・リクルート・ベンチャーズ

第2号「ビジネスの現場で ワークショップを活用するには？」

<事例紹介>

- ・キリン・ホールディングス Nakano Style
- ・台東デザインナースビルレッジ

第1号「対話の場の可能性と必要性」

好評発売中！

(価格は税込)

情報誌

「地産知縁」

1～4号セット 冊子版 1,620円

PDF版 972円

その他の出版物、ツールの紹介、
購入申込みはこちらから

<http://empublic.jp/publication>

